

サムライミートアップ ウェブサイト

仕様書

改訂履歴:

リビジョン	日付	作成者	記述
v0.1	8/30/2016	Kiefer	ドキュメントを作った

目次

[サポート範囲](#)

[システム概要](#)

[データベースの概要](#)

[スキーマ](#)

[情報](#)

[ユースケース](#)

[画面](#)

[他の情報](#)

[日本語と英語のワーディングリスト](#)

[データベースのバックアップとリストア](#)

[GITのワークフローと使い方](#)

I. サポート範囲

OS	Chrome v52.0	Firefox vX.X	Safari vX.X	Edge vX.X	IE vX.X
Linux Mint 17.2	ある	ある	ある	ある	なし
Windows 7, 10	ある	ある	ある	ある	なし
Mac OS X	ある	ある	ある	ある	なし
Android	ある	ある	ある	N/A	N/A
iOS	ある	ある	ある	N/A	N/A

II. システム概要

A. データベースの概要

1. スキーマ

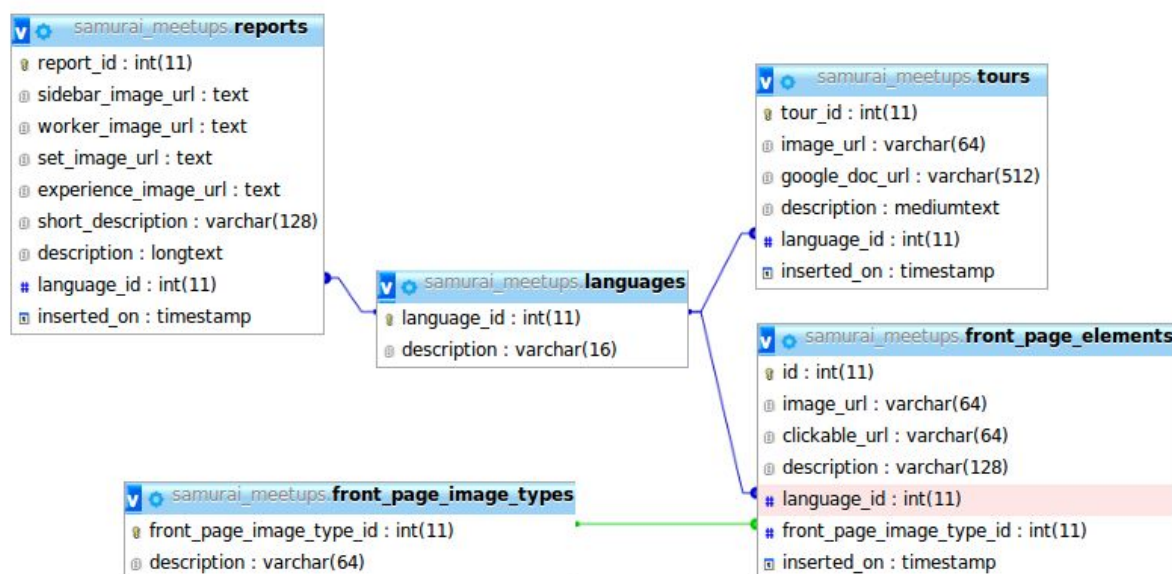


Figure 1. データベースのスキーマ

「○○_image_url」はイメージのファイルの名前の意味です。例えば、「report-001.jpg」
これを入れる前に、「/var/www/html/samurai-meetups/web/images/」のフォルダの中でこのイ
メージを入れて下さい。

2. 情報

- a. Reports : このテーブルはレポートの情報が入っています。
 - i. report_idはテーブルのプライマリーキー
 - ii. sidebar_image_urlはサイドバーから見えるイメージ
 - iii. short_descriptionはサイドバーから見えるデスクリプション
 - iv. language_idはv1.0で使いません
 - v. inserted_onは自動で入れるから、入らなくてもいい
- b. languages : この言語のテーブルはv1.0で使いませんが、例えば、ツアーレポートの言語が日本語と英語があれば、このテーブルを使って下さい。今はツアーレポートとツアーの情報の言語は一つだけあります。
- c. Front_page_image_types : このデータベーステーブルはトップページのイメージのタイプの情報が入っています。例えば、「ツアーのイメージ」、「レポートのイメージ」。
 - i. language_idはv1.0で使いません
- d. Front_page_elements : このテーブルはトップページのイメージが入っています。
 - i. clickable_urlはfront_page_image_type_idによります。例えば、front_page_image_type_idは「facebook」のイメージのことなら、clickable_urlは「<http://facebook.com/samuraimetups>」。そして、front_page_image_type_idは「ツアー」のイメージのことなら、clickable_urlは「tour_id」です。
 - ii. language_idはv1.0で使いません
 - iii. inserted_onは自動で入れるから、入らなくてもいい
- e. tours : このテーブルはツアーの写真とツアーの情報が入っています。

B. ユースケース

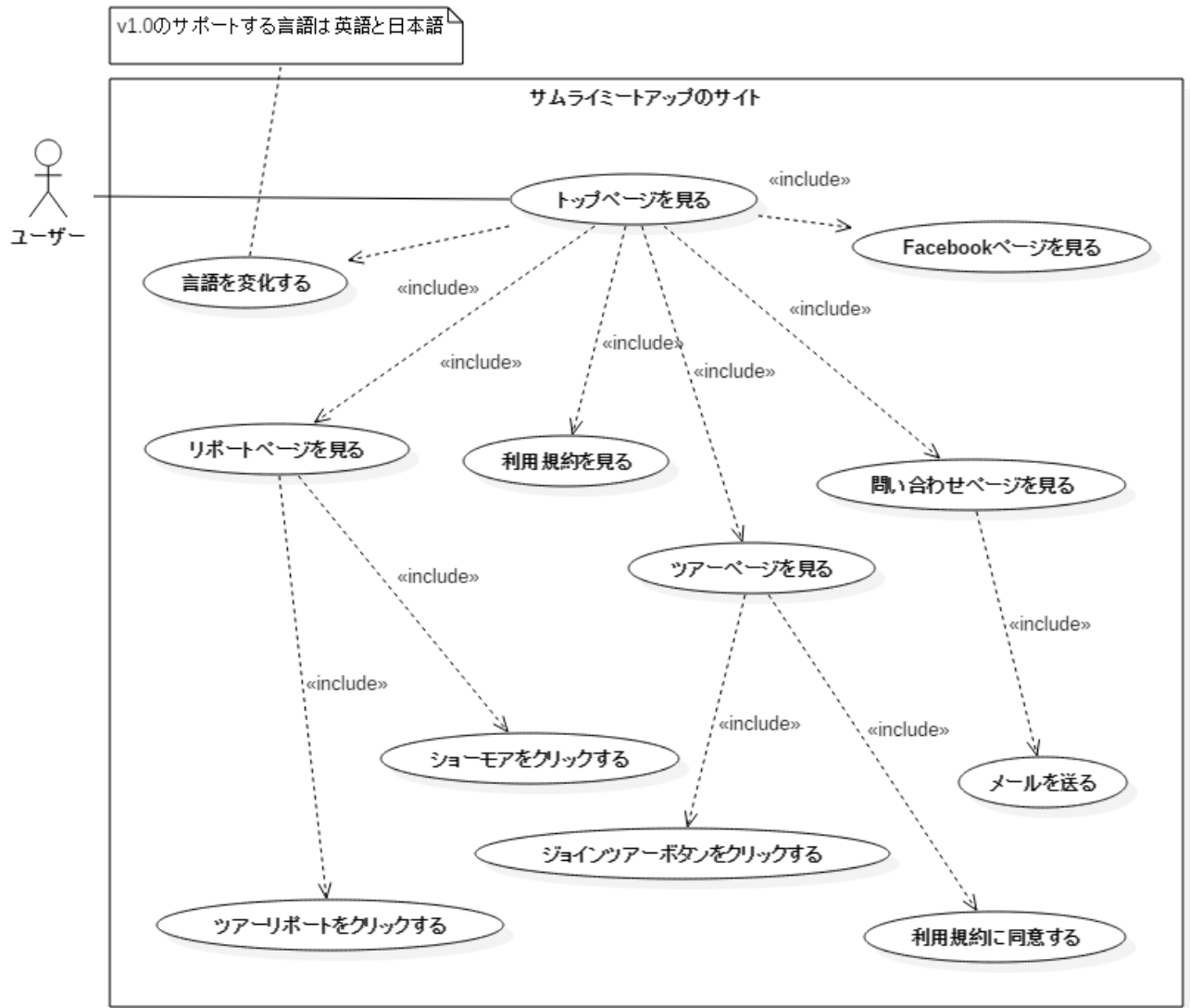


Figure 2. Use Case Diagram

III. 画面

IV. 他の情報

A. 日本語と英語のワーディングリスト

英語と日本語のワーディングリストを変化したい時、「samurai-meetups/messages/ja/app.yii」を編集して下さい。

このファイルの中のフォーマットは「英語のワーディング' => '日本語のワーディング',」です。例えば：

```
'Menu' => 'メニュー',
```

そして、Viewの中でこのワーディングを使い方は：

```
Yii::t('app', 'Menu');
```

B. データベースのバックアップとリストア

サムライミートアップのデータのバックアップは凄く大事です。困る時、バックアップがあれば問題ありません。サーバーからバックアップの方法はターミナルでこのコマンドを入れて下さい。

```
mysqldump -u root -p samurai_meetups > samurai.sql
```

そして、データベースのパスワードを入れて下さい。

データベースでリストアをしたい時、サーバーからターミナルでこのコマンドを入れて下さい。

```
mysql -u root -p samurai_meetups < samurai.sql
```

そして、データベースのパスワードを入れて下さい。

C. GITのワークフローと使い方

GITのbranchのフォーマット:

名前	説明
master	このbranchはリリースのコードがあります。
develop	このbranchはプログラミングする時使います。 masterのbranchから、git-branchします。
feature/〇〇〇	Featureのbranchは一つ一つのフィーチャーのコードがあります。 例えば、「feature/01-top-page」、「feature/02-reports-page」 developのbranchから、git-branchして、プログラミングした後で、 git-mergeをして下さい。
bugfix/〇〇〇	Bugがあれば、このbranchをgit-branchして下さい。

もっと読みたければ、<https://www.atlassian.com/ja/git/workflows> をクリックして下さい。

そして、サーバーから、コードをアップデートしたければ、ターミナルでこのコマンドを入れて下さい:

```
cd /var/www/html/samurai-meetups/  
git pull origin master
```

この前にgit-cloneして下さい。

```
git clone https://github.com/kieferyap/samurai-meetups.git
```

もっと読みたければ、<http://qiita.com/konweb/items/621722f67fdd8f86a017> をクリックして下さい。